

## 産業応用部門2014年度大会

## 三島 信行\*

\*三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内 1-1-1  
 \*Mitsubishi Chemical Corporation, 1-1-1 Marunouchi Chiyoda-ku, Tokyo, Japan  
 \*E-mail: mishima.nobuyuki@mu.m-kagaku.co.jp

JL 0005/15/5405-0365 ©2015 SICE

2014年産業応用部門大会が11月12日(木)に東京工業大学・大岡山キャンパスで開催されました。概要についてご報告いたします。本大会では、2013年度に引き続き制御部門との連携強化と、両部門活動の活性化のために、合同企画OSが開催されました。合同OSでは「制御技術とエネルギー経済」と題し、制御理論、電力需給ネットワークへの対応手法、電力産業における新旧技術者格差への取り組みなど3件の講演がありました。

このほか、例年どおり部門大会の一般講演会も行われ、回転機械のミスライメント状況の特徴解明と診断に関する研究や、低速回転機器の異常診断手法の3件の研究発表がありました。部門大会に併設される各部会主催のシンポジウムでは、産業システムシンポジウムが「安心して運転操作できる作業環境」と題し、人に焦点をあてた安全性や作業性、機能性などの設計について、後援をいただいた日本ファシリティーマネジメント協会の「ダイバーシティーのためのユニバーサルデザイン」と、制御系システムセキュリティの取り組み、プラント計器室設計、ガス製造設備制御室の設計事例について6件の講演がありました(写真1)。計測・制御ネットワーク部会のシンポジウムでは、今回新企画として国際委員会との共催行事のSICE国際化支援プログラム<sup>1)</sup>を開催いたしました。「産業用オートメーションにおけるデバイス管理技術の最新動向」をテーマに、標準化技術としてのFDT技術(Field Device Tool, IEC 62453)のFA分野における欧州での適用事例の招聘講演をはじめ、標準化技術の最新動向の解説など5件に関して海外技術者からもご講



写真1 産業システムシンポジウムの模様

演をいただき、部門の国際化が促進できました。流体計測制御シンポジウムでは、「計測制御・ロボット」、「流体機器・システム」、「福祉・医用・パワーアシスト」の3つのセッションで14件の研究発表がありました。

さらにSICEの新たな活動として、事故・災害に対する社会安全のための方法論を体系化するニーズに対し発足した、安全のための計測・制御・システムを考える会によるシンポジウムでは、「安全を創る」をテーマにご講演がされました。

部門大会の最後には産業応用部門賞の表彰式と記念講演も行われ、下記の1件の技術賞の方が表彰されました(写真2)。



写真2 部門賞の受賞者

## ■技術賞

1) マルチバリアブル伝送器 DPharp EJX と安全計装システム ProSafe-RS を組み合わせた高信頼のガス流量演算ソリューションの開発: 横河電機株式会社 伊藤章雄君, 比田井徹夫君, 小林季子君, 小田桐尚彦君, 小川永樹君

部門大会終了後には場所を移して技術交流会が行われ、合同企画OS、国際化支援プログラムや部門賞受賞者も交えて親睦を深めました。最終的に本大会の参加者は制御部門合同企画OSの効果もあり、101名(会員または賛助会員に所属62名、会員外1名、学生20名、招待者18名)となりました。

(2015年3月13日受付)

## 参 考 文 献

- 1) 伊藤章雄: 産業応用部門2014年度大会におけるSICE国際化支援プログラム活動報告, 計測と制御, 54-5, 363 (2015)